

# 越谷都市計画道路

## 3・3・59 川柳大成町線整備事業

### 事業再評価

---

1. 事業の概要
2. 整備の目的
3. 進捗状況
4. 事業投資効果
5. まとめ（今後の対応方針）



越谷市  
建設部 道路建設課

## 【事業再評価の対象となる事業とは】

越谷市公共事業再評価実施要綱第3条より、  
国庫補助事業のうち、以下いずれかに該当するもの

- (1) 事業採択後、5年経過した時点で未着工
- (2) 事業採択後、5年経過した時点で継続中
- (3) 準備・計画段階で5年経過した事業
- (4) 再評価実施後、5年経過した時点で未完了



本件は (4) に該当

(平成24年度事業採択)

(平成30年度再評価実施)

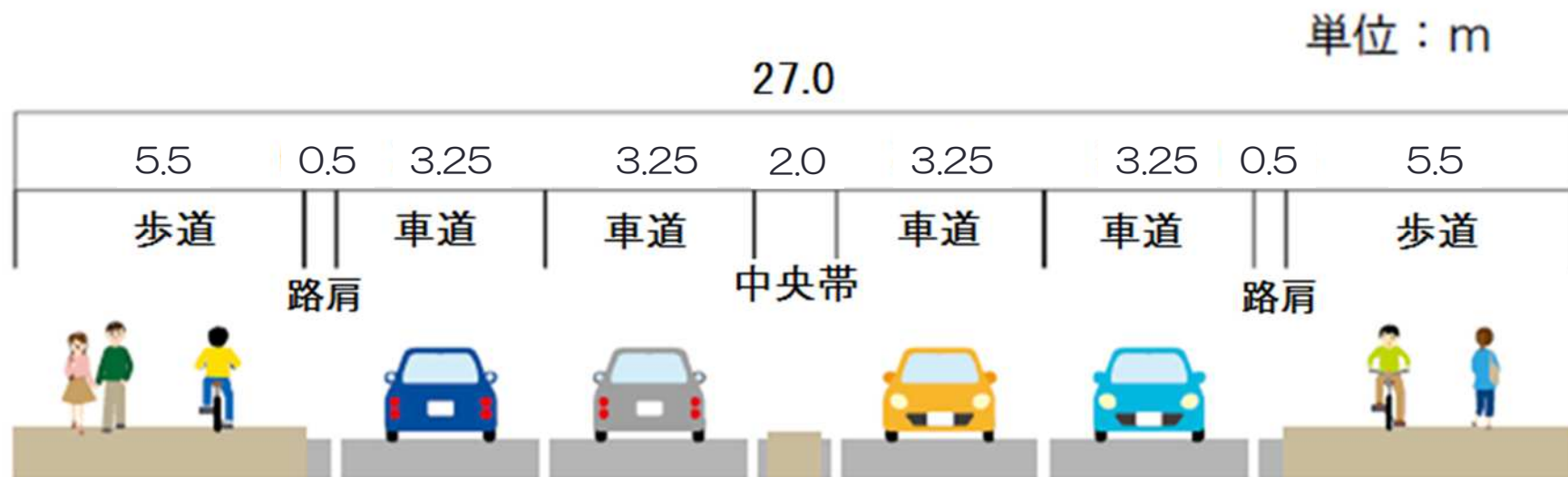
# 1. 事業の概要

名 称	3・3・59 川柳大成町線
事業主体	UR都市機構 および 越谷市
計画決定	当初 平成 8年 5月10日 最終決定 平成27年 2月10日
起 終 点	越谷市レイクタウン一丁目地内 ～ 川柳町五丁目地内
計画延長 標準幅員	2,000m 27m (4車線)

■このうち、現在事業中の区間は以下のとおり

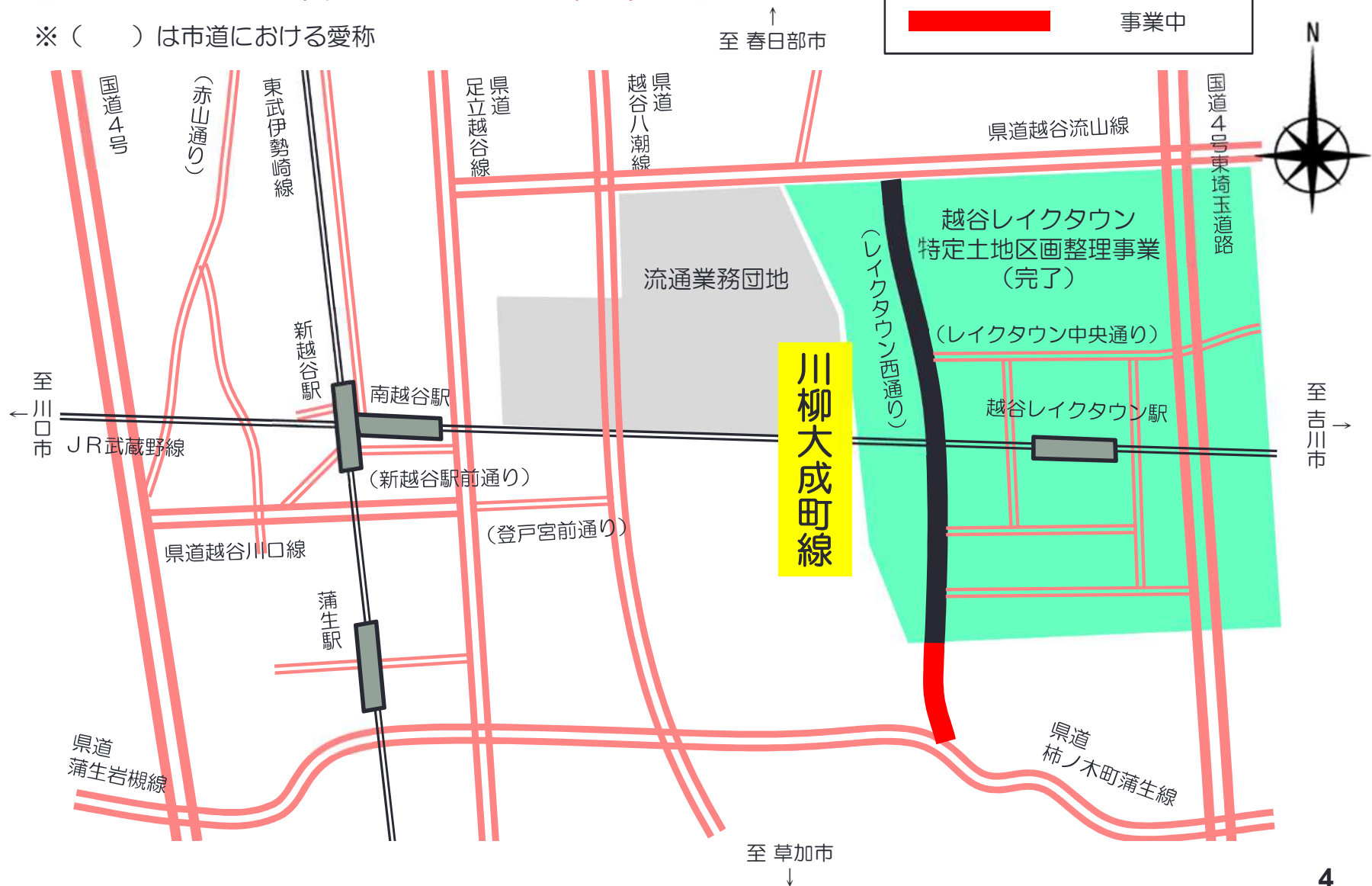
事業主体	越谷市
事業箇所	越谷市川柳町五丁目地内
事業延長	約 300m

# 【幅員構成（イメージ）】



# 【位置図（現況道路網）】

※（ ）は市道における愛称



# 【都市計画道路網】



## 2. 整備の目的

当該路線は、北は都市計画道路越谷吉川線、南は都市計画道路蒲生柿木川戸線と接続する、延長2,000mの都市計画道路であり、市東南部の大相模地区および川柳地区の南北交通の要となるとともに、イオンレイクタウン等大規模商業施設へのアクセス向上と周囲の渋滞緩和に大いに寄与する路線です。

レイクタウン地区内の約1,700mの区間については、特定土地区画整理事業に伴い、UR都市機構により整備され、標準幅員27m、4車線で完全供用されています。

しかしながら、残る川柳町五丁目地内の約300mの区間については、幅員10mにも満たない現道のままとなっており、交通量も多いなかで、歩行者や自転車にとっては、安心して通行できる環境であるとは言えません。

このようなことから、

- ① 市内東南部における南北交通の円滑化
- ② 大規模商業施設へのアクセス向上、渋滞緩和
- ③ 歩行者・自転車利用者の安全確保

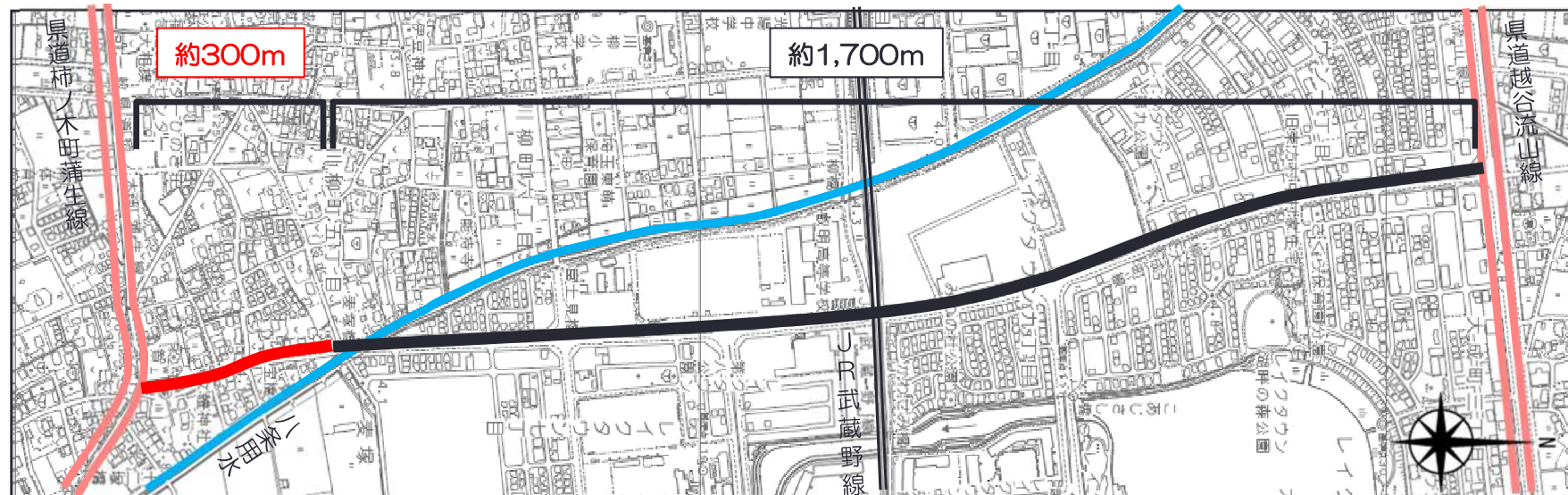
等を図るため、当該路線の早期の全線開通に向け、事業に取り組んでいます。

### 3. 進捗状況（都市計画道路全体）

現在、北は県道越谷流山線との交差点から、南は八条用水を少し越えた、市道90544号線および90657号線との交差点までの約1,700mが完成しています。

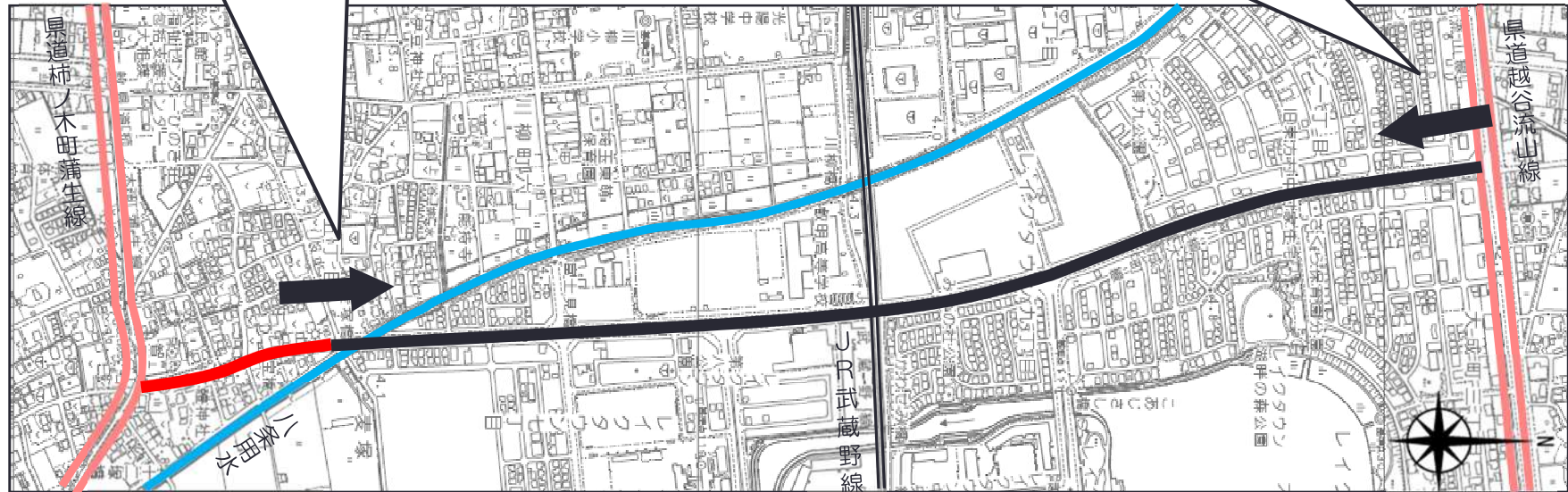
#### 事業進捗率

完成延長ベース **約85%**（完成延長約1,700m / 計画延長2,000m）





# 【完成区間の状況】



### 3. 進捗状況（事業中区間）

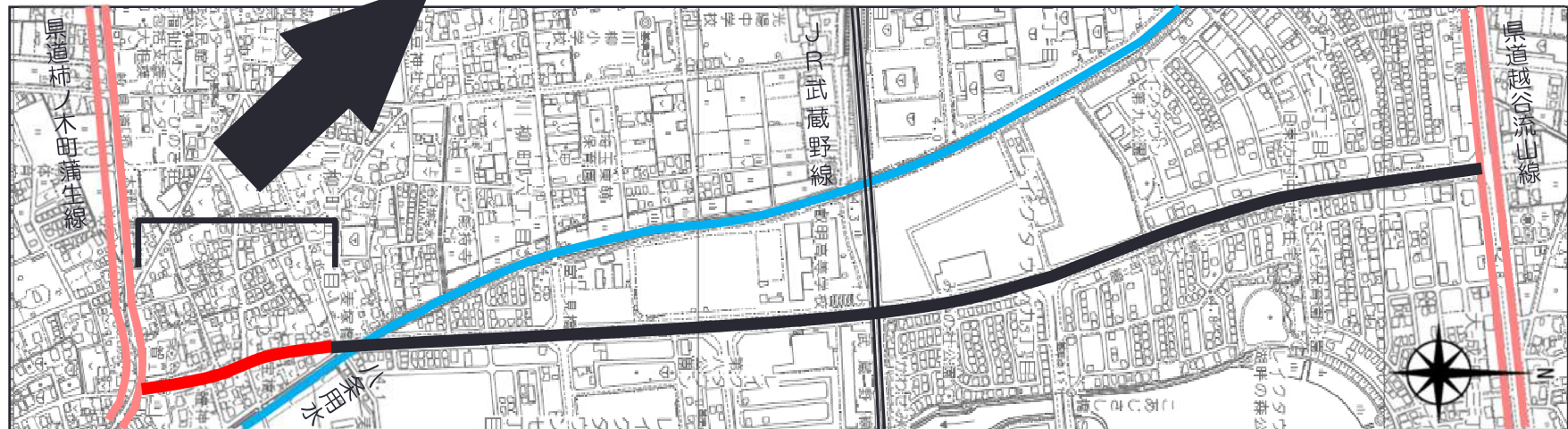
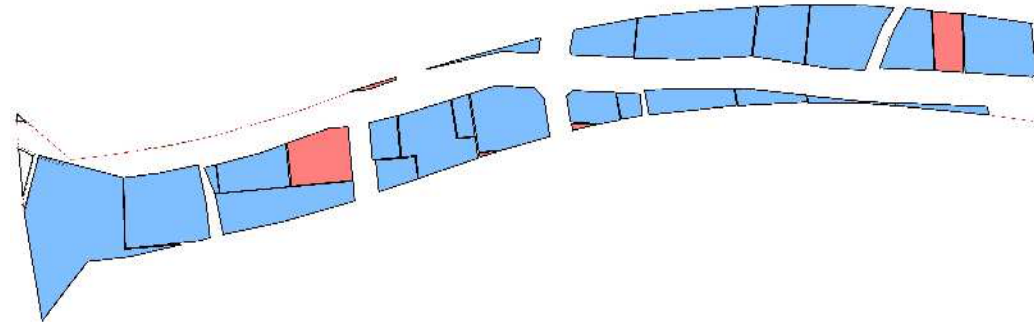
#### 事業進捗率

用地取得面積ベース 約92.7%（取得済面積約5,320㎡／総面積約5,741㎡）

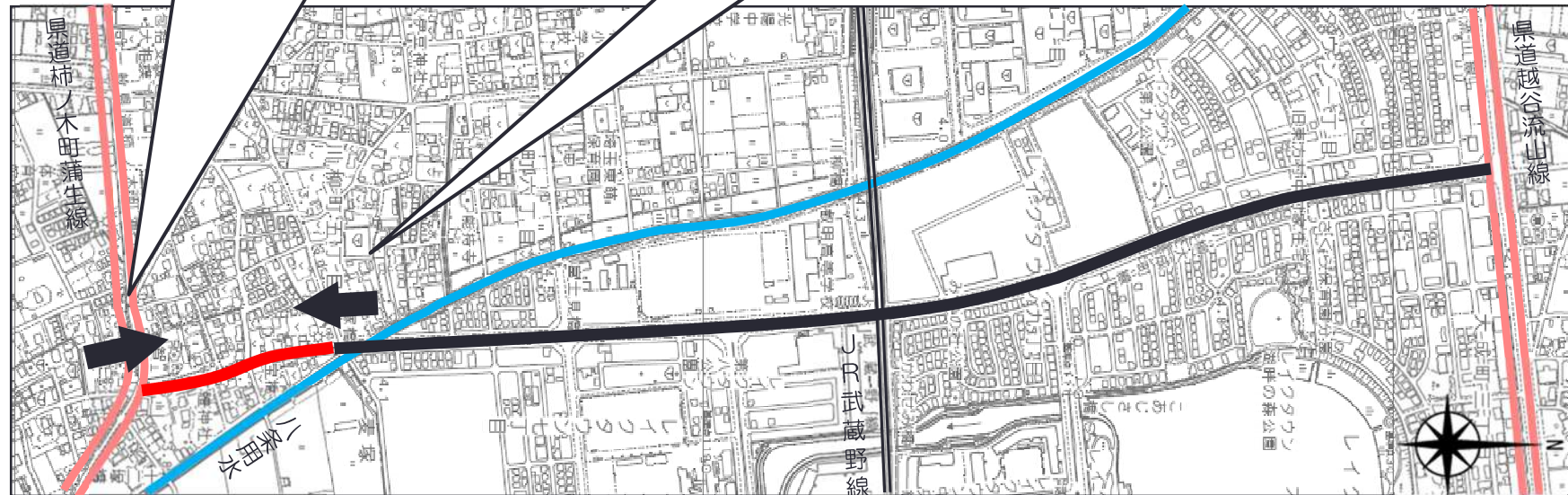
事業費ベース 約64.8%（これまでの事業費約13.8億円／総事業費約21.3億円）

用地取得状況図

- 取得済
- 未取得



# 【事業中区間の状況】



## 4. 事業投資効果

【費用便益比（Benefit／Cost）の算定】

$$\begin{array}{l} \text{費用便益比} \\ (B/C) = \end{array} \frac{\begin{array}{c} \text{〔道路利用者が享受する便益 (B)〕} \\ \text{走行時間短縮便益} \quad \text{走行経費減少便益} \quad \text{交通事故減少便益} \end{array}}{\begin{array}{c} \text{〔道路整備に伴う費用 (C)〕} \\ \text{工事費} \quad \text{補償費} \quad \text{維持管理費} \end{array}} = \frac{44\text{億円}}{21\text{億円}} = 2.1$$

B／Cが1.0以上であることから、投資に対する十分な事業効果が見込めます。

## 5. まとめ（今後の対応方針）

- ① 当該道路整備により、市内の南北交通の円滑化が図られ、イオンレイクタウン等大規模商業施設へのアクセスが向上し、周辺の渋滞が緩和される。  
また、越谷吉川線および蒲生柿木川戸線との接続がなされる等、都市計画道路網としての機能が発揮される。
- ② 事業中の区間は現道が残るが、完成区間からの往来により通過交通が多く安全性に懸念があり、早期の整備が地域からも強く望まれている。
- ③ 費用便益分析の結果、投資に対する事業の効果が十分に見込まれる。



以上のことから、当該路線の全線開通に向けて、事業を継続し、鋭意進めてまいります。



ご清聴ありがとうございました。



越谷市  
建設部 道路建設課